

生産減を示したことは全世界資本主義の没落を如實に物語るものである。

しかも、その結果は、對外的には國際市場に於ける無政府的競争を招來して國家間の對立を激化せしめ、對内的には物價の高騰、消費力の減退となつて、民衆の生活を幾何級数的に悪化せしめたのである。

茲に於て、全世界の資本主義國家は、没落回避の最後の方策として關稅の高壁、五惠條約の廢棄等により國際主義を放棄し排外的國家主義の旗幟を明確にし、一齊にブロック經濟に轉向した。

オッタワ英帝國會議、日印通商條約の廢棄、各國のダンピング稅の設定、乃至は關稅の引上げ、日滿兩國を始めとし各國に於けるブロック經濟の確立等は、この世界資本主義の動向を明示するものでなければならぬ。

而して、かくの如き資本主義の苦悶は、ロンドン國際經濟會議の破綻によりていよいよ匡救し得ざることを曝露した。

ロンドン經濟會議は瀕死の病人をめぐる醫者の立會會議の如きものであつて、我等は會議開催に先き立つて、その何等得る處なきを豫言したのである。

しかるに、ブルジョアジーは、この會議をもつて没落せんとする資本主義に起死回生の妙藥を與ふるものゝ如く宣傳して、生活の窮迫化に悩む民衆の不平を一時的に鎮撫せんとした。

果せるかな、會議に於ては、各國とも批利／＼的利己主義を露骨に發揮して、事々に衝突し何等うるところなく、遂に野垂死的終末を遂ぐるに至つた。

かくの如くして、ブルジョアジーは凡ゆる僞善的手段を弄して資本主義の延命を策すると共に、一方に於ては國家主義的假面をかぶる資本主義の便衣隊ファシズムを飼育し、之をして資本主義最後のパレードたらしめんとしてゐるのである。

伊太利のファシズム、獨逸のナチス運動、ポーランド、ユーゴスロバキア乃至はバルカン諸國のファシズム運動等の實例に徴するも、いかに彼等が忠實にブルジョアジーの意圖を體して、必死的努力をもつて、無産階級の頭上に不當なる抑壓の鞭を揮ひつゝあるかを物語るものである。

爾つて、世界資本主義の重要な一環をなす我國資本主義の現狀は如何？

日本資本主義が世界資本主義の一環である以上、世界資本主義の動搖と衰微と不安と反動に影響されたことはいふ迄もないが、特に我國資本主義特有の缺點が、明治維新を發足點とし、その發達テンポが變動的に急激であつたこと、産業基礎の弱少、生産資源の不足等に因由せるため、その基礎は世界的恐慌によりて根底よりゆり動ごかされ、従つてブルジョアジーの無産階級への搾取と壓迫は他國に比をるざるほどのものがあつたのである。

しかしながら、軍事インフレ政策の強行、爲替下落による輸出の増大等の偶發的原因と、無産階級が蒙らされた極度の犠牲の下に、部分的には幾分景氣上向の傾向を示したのもあつたのであるが、全體的にみるときは、依然として恐慌の最低位を脱し得なかつた。この經濟的危機は必然的に政治的不安を深刻化し、昨年春所謂五一五事件の發生によつて成立せる齊藤内閣は舉國一致の名に依りて政局の安定を意圖せるも、政界内部の諸矛盾は經濟恐慌の動搖と相俟つて、常に政治的不安を醸成しつゝ今日に到つたのである。

しかも、一昨年の滿洲問題の發生を契機として起れるファシズム運動は、國家主義乃至愛國主義等の擬裝の下に資本主義便衣隊の役割を遂行せるも、戰爭熱の冷却と共に漸くその馬脚を表し、今年に至つては國家社會黨及これを支持する労働團體の分裂等